

住みたい街
No.1の
中央区へ



活動報告 Digest!

2011-2015

まもなく、区議会二期目の任期が満了となります。
これまでの4年間の主な活動概要を皆様へお知らせします。



中央区議会議員 走る!コータロー

田中耕太郎

討議資料

2015 (平成 27) 年度 予算特別委員会報告 (3/5-3/17)

● 一般会計予算 910 億 7174 万 6 千円 5 年連続増額更新!

私 コータローは予算特別委員として、
区民ならびに納税者の方々からお
預かりしている貴重な財源が、効率的かつ
コストパフォーマンスに見合った予算となっ
ているのかを重点におき審査と質疑を行
いました。その中で以下3点については高く
評価しました。

防災対策 優良マンション認定制度

これまで区はマンションを私有財産と考え、管理
組合を公的支援、防災対策の対象とは殆どして
きませんでした。長年の訴えが実現し、今後も
更なる支援の拡大を目指します。

子供の居場所「フレティ」と 児童館の利用時間を拡大

中央区の人口は激しく増加しており、その中心
は30～40代の子育て世帯の流入で、子供の
人数も著しく増加しています。夫婦共働きの
世帯が増える中で、主に小学生の子供らの放課

後の居場所作りは喫緊の課題であり、定員や
利用時間の拡大は適切です。

コミュニティサイクルの導入

環境問題や放置自転車対策、さらに観光活
性化などを目的として、自転車200台サイ
クルポート20ヶ所の導入を行います。また、隣
接の千代田区・港区・江東区とコミュニティ
サイクルに関わる協定を締結し、都心広域
でのサービス展開と事業効率化を目指して
いく事により将来性を高めています。

一方で以下の2点については強く改善の要
望した上で予算案に賛成しました。

保育定員の拡大 小学校・幼稚園の増改築

これまでも多くの区民とりわけ子育て世帯
からの要望を受けて、待機児童問題に取
り組んできており、近年の保育所増加に
区は努力を重ねています。しかし、現
実に待機児童が完全

にゼロとなる事はなく、人口増加は今後も
続きます。10年先を見据えた保育定員
ならびに学校キャパシティの拡大策を
強く求めました。

町会の活性化

中央区は人口が増加しているものの、
多くの町会は会員数の減少や高齢化に
悩んでいます。私は所属町会の青年部長
を努めていますが、現在の町会には新
たに住民となった方を対象とした取組
が不十分な場合があります。区で行
っている町会への支援策も対象者や目
的を明確にし、効果的に行うように訴
えました。



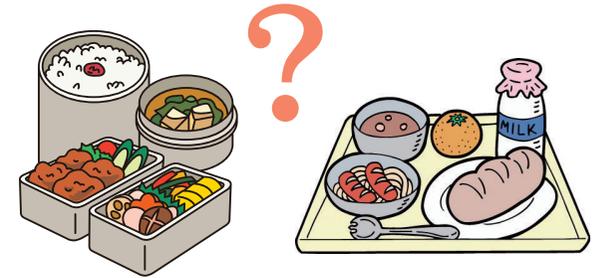
● 請願の紹介実績

請願 (区民からの区議会への要望・要求)

区民からの請願は紹介議員がいる場合は、議会で必ず審議され、最終的に賛否が議決され、採択された場合は、しかるべき対応を行政はとらなければなりません。私はこれまで多くの請願を紹介し、区民の切実な要望を重要議題として取り上げ、その改善に取り組んできました。

「区内保育所・全区立学校における給食の安全性に関する請願」の紹介議員

福島第一原発の事故による原子力災害に際して、中央区内のお子
様のいる多くのご家庭から給食の安全性と選択の自由を求める
声を当時多く頂き、緊急対応として給食・弁当の選択制導入等を
訴え、区議会において趣旨採択となりました。前例がない事象へ
危機感とスピード感を持った対応は走るコータロー最大の強み
です。



「月島一丁目3、4、5番地再開発事業の期限付き手続き留保を求める請願」の紹介議員

「月島3丁目児童遊園スーパー堤防化工事の情報開示及び計画見直しを求める請願」の紹介議員

再開発が著しい中央区では、既存の住民が不利益を被る案件も少なくありません。中央区内の再開発は積極的に推進すべきという
立場ですが、その過程において情報と痛みを開発者と近隣住民で共有しなければならないと考えます。残念ながら否決されましたが、
遠回りに見えても意見の相違を明確にする事がその後の対話に繋がると確信しています。

○ 田中耕太郎プロフィール

1977(昭和52)年7月19日 東京都板橋区生まれ。妻(製薬会社のMR)と
長男(6歳 人形町保育園～日本橋小学校)・長女(0歳)と日本橋小舟町在住。

- 現在 ○ 中央区議会議員(2期・企画総務委員・防災等安全対策特別委員)
- 堀留町一丁目町会 青年部長
- 日本橋消防団第一分団 班長



- 職歴 ○ 株式会社みずほ銀行 融資・渉外業務
- アリコジャパン(現メットライフ生命保険株式会社) 法人・個人営業
- 学歴 ○ 巣鴨高等学校 卒業
- 明治大学政治経済学部 卒業 明治大学雄弁部出身
- 一橋大学大学院 公共政策教育部 中退



2011(平成23)年度

企画総務委員 少子高齢化対策特別委員長

2012(平成24)年度

企画総務委員 地域活性化対策特別委員長

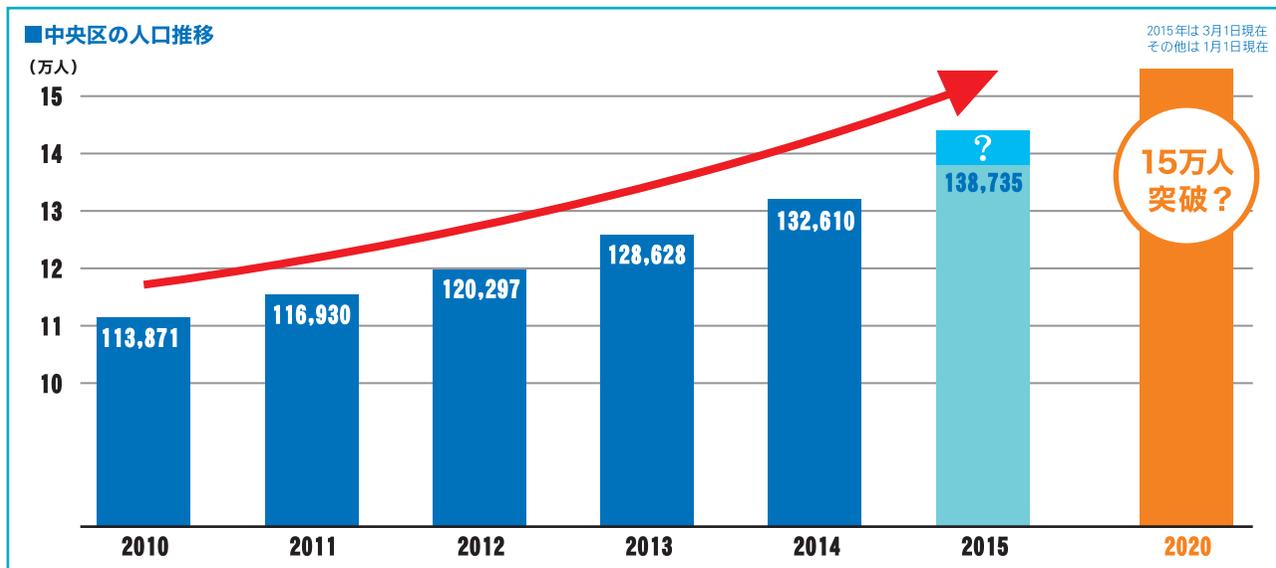
2013(平成25)年度

環境建設委員 少子高齢化対策特別委員長

2014(平成26)年度

企画総務委員 防災等安全対策特別委員

人口15万人突破を見込め!



中 央区の人口は1997(平成9)年に過去最低となる72,090人から本年3月1日現在138,735人まで急増し、今後も増加が見込まれることから約20年間で倍増(!)する事になります。中央区の基本計画2013の中で2018(平成30)年に人口145,500人、

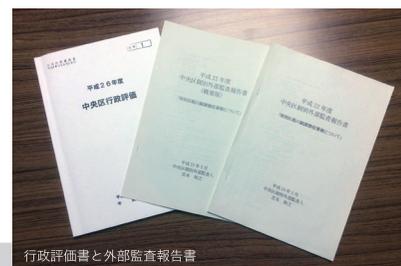
2023(平成30)年に149,200人を想定していましたが、その後の2020東京五輪の開催決定による晴海地区の選手村跡地だけでも1万人以上の人口増加が見込まれ、近年のマンション開発傾向を踏まえるならば、2020年の東京五輪前にも人口15万人

を突破する可能性を私は指摘してきました。人口増加は嬉しい事ですが、急激な増加によって保育園の待機児童問題や学校の教室不足をはじめ深刻な問題が発生しています。想定を厳しく見積もり15万人都市へ先行準備を進める事が中央区の最大の課題です。

行政評価・外部監査からの改革

成 果を重視した行政運営とコストパフォーマンスを求めている私は、区役所の行政評価書が自己評価である事から甘く、また議会での評価の審議を行う決算委員会に発行時期が間に合っていない事を繰り返し指摘した結果、発行時期を早め、評価内容の充実も図られました。今後は更に行政サービスの1人当たり、1案件あたりのコストパフォーマンスが分かるABC分析(Activity

Based Costing)の導入を目指し行政改革の促進を目指します。また、地方自治体においては内部監査以外に外部監査を受ける制度が平成10年に導入され、中央区においても平成21、22年度において行われました。会計士や弁護士ら専門家による外部監査は区の事務事業について厳しく客観的な分析がなされており、指摘事項の改善を要望し業務の見直しが行われています。さらに包括



的外部監査も導入するように働きかけていきます。

チルドレンファーストの社会へ



近 年、児童虐待の増加やいじめ、不登校といった問題が深刻化しています。

核家族化、少子化、地域のつながりの希薄化等、子供達を取り巻く環境を改善する為にチルドレンファーストの発想が重要です。日本は主要先進国の中でも子供と家庭向け公的支出のGDP比率が低く、高齢者向け支出が多いとされる国です。高齢者を大切にすることは当然ですが、緊急性の低い高齢者優遇策であった「敬老買物券」の対象者と金額の見直しを行い、その分の予算を保育園・教育施設の整備などの財源にすべき事を議

会で強く訴え、実現されました。6歳と0歳の2人の子供の父親として、中央区での子育てを実践しながら、すべては子供達の未来=日本の未来の為にチルドレンファーストの社会実現を目指します。

マンション管理組合への支援

中 央区ではこれまで、マンションの管理組合を一つの自治組織としてみておらず、町会・自治会を行政の最小単位として支援や交流を行っています。しかし、中央区のマンション世帯率は85%を超えており、区民の大半はマンション住民です。自宅マンションの管理組合役員をしてきた私は初当選直後からマンション住民・管理組合を対象とした施策の展開を訴えてきており、2015年度に「防災対策優良マンション認定制度」が始まった事は感慨深いものが



あります。今後も、町会・自治会とともにマンション管理組合への支援と施策の充実へ尽力します。

災害防災協定



東 日本大震災直後から中央区は石巻市への支援を行っています。私は支援をやがて防災協定へと発展させるべきであると議会で指摘し、2012年に石巻市と災害時相互防災協定を締結しています。その他、山形県東根市、岡山県玉野市、千葉県銚子市、山梨県富士河口湖町とも防災協定を締結していますが、締結自治体の数も協力体制も充実している他の区市と比べると課題があり改善を目指すべき提言を続けています。

ご意見・ご要望はこちら



田中耕太郎 事務所

〒103-0024 中央区日本橋小舟町 15-6-503

TEL/FAX 03-6909-5575

E-MAIL tanakakotaro@gmail.com

田中耕太郎 中央区

検索

<http://www.tanaka-kotaro.jp/>